

福島県相馬市の子どもたちが本市で冬の一日を満喫

平成29年12月24日から28日まで、福島県相馬市の小学生が芦別市を訪れました。

これは、東日本大震災・避難者受け入れ支援事業「北の大地に会いに行こう」の冬期コースとして星槎グループと市が主催し、6年前から行っているもので、今回は小学3年生から6年生までの男女合わせて40

人が参加しました。

一行は24日夕方、フェリーとバスを乗り継いで、緑泉町の星槎国際高校スクーリング棟に到着。歓迎式やパーティーが行われました。また、グラウンドで雪遊びに興じたり、国設芦別スキー場でスキー体験を行ったりするなど、芦別での冬休みの一日を満喫していました。



道内各地の中学生バレーボールチームが合宿を行う



第44回ジュニアバレーボールキャンプ2次キャンプが1月5日から11日まで、市総合体育館を主会場に行われました=写真は1月9日、勤労者体育センター。

中学生のバレーボール技術向上のため、北海道バレーボール協会が主催し、毎年本市を会場に行われているもので、今年も三つのグ

ループに分かれ、女子44チーム、男子30チーム、合わせて約700人が参加。1グループ2泊3日の日程で合宿が行われました。

会場では、バレーボール技術の基本から試合の戦術まで、みっちり指導が行われ、参加者の大きな声が会場に響き渡っていました。

無災害・安全安心なまちづくり目指して消防出初式

1月7日、平成30年芦別消防出初式が総合福祉センターを主会場に行われました。

消防職員・団員の連携協調を図り、資質向上と士気の高揚を目指すとともに、市民の皆さんに安全安心な地域づくりをアピールするための恒例の行事。

当日は、滝川地区広域消防事務

組合芦別消防署職員・団員合わせて約170人と消防車両12台が参加。市民が見守る中、一番街通りを分列行進した後、総合福祉センター駐車場で開会式が行われました。

この後、総合福祉センターで各種表彰などが行われ、無災害と安全安心なまちづくりへの決意を新たにしました。



3世代が集まり、下の句かるた大会が行われる



1月13日、芦別市世代交流下の句かるた大会が、総合福祉センターで開催されました。

芦別市青少年育成連絡協議会と老人クラブ連合会、下の句かるた愛好会が主催し、今年で11回目。

当日は、市内の小学生や高校生と老人クラブ会員の皆さんなど合

わせて約30人が参加しました。

競技では、下の句かるた愛好会会員が歌を読みあげると、参加者は一斉に札に集中、めざす札を見つけると勢いよく手を伸ばすなど、真剣な中にも和気あいあいとした中で競技が行われました。